

学校の段階的再開期間中の「単元の指導と評価の計画」

神奈川県立逗子高等学校

学年	3 学年	実施期間	6 月 1 5 日 (月) ~ 6 月 1 9 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	現代文 B	言葉について	語句の知識を増やし、それぞれのテーマについて考える。	「キーワード」35 (神話/タブー) ~40 (分断社会) を勉強しておくこと。	・定期テスト
	古典 B				
	国語表現	志望先を知る。	・必要な情報を用い、課題に対して自分なりの問題意識をもち、自分の考えを深めている。 ・適切な表現で文章を書いている。	国語表現演習ノート p 34-35 を完成させる。	・提出物で評価する。(関心・意欲・態度、書く能力) ・授業での観察・小テストで評価する。
地理歴史	世界史研究	○環大西洋革命と パクス=ブリタニカ 振り返り学習 3	○いわゆる「市民革命」について、現代に生きる市民としての視点から考察する。 ○この単元で習得した歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を確実なものにする。	○これまでの課題学習の成果を振り返り、アメリカ合衆国の独立やフランス革命などいわゆる「市民革命」について、現代の視点から評価できる点と問題点について考察する。 ○すでに配布してある「まとめプリント」を利用して、歴史用語の知識を確実なものにする。 ◎G Suite の家庭学習と振り返り学習で浮かんだ疑問点等を G Suite のストリーム上でみんなに発信する。 * 詳細は、G Suite の指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	日本史研究	幕藩体制の動揺と幕政の改革 欧米列強の接近と天保の改革 江戸中・後期の文化	・享保の改革、田沼意次による改革、寛政の改革、それぞれの改革の特色について諸資料を基に考察し理解する。 ・欧米諸国のアジア進出による世界情勢の変化や幕府の対処から幕藩体制が動揺していく過程を理解し考察する。 ・江戸中・後期の文化、化政文化について、理解する。	プリント課題に取り組む。 ※課題のプリントはclassroomにあげるので確認してください。 ※この内容はすでにワークで取り組んでいるので、復習としてプリントを使用してください。 ※課題は授業時に確認するもの、classroomで提出するものがあるので、コメントを確認して対応してください。	・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、諸資料を適切に活用し考察している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)(思考・判断・表現)
	地理 B	世界の地形	・火山と地震の活動について理解する。	教科書の P 3 2 ~ 3 3 を読み、火山や地震の活動が人間生活に与える影響を日本の自然災害の例をあげてレポート 2 枚以上にまとめなさい。	学習の目標にある事項内容について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)(思考・判断・表現)
公民	政治経済	日本国憲法の基本的性格	民主政治における、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。	教科書 P 3 4 の時事 2 の沖縄と基地のコラムを読み、憲法第 9 条の平和主義を踏まえながら、沖縄の基地問題についての自己の見解を 2 枚以上のレポートにまとめなさい。	レポートの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・思考・表現・資料活用)の技能・知識・理解)
	現代社会研究				
	数学 III	関数の極限 いろいろな関数と極限 関数の連続性	○複素数の基本性質について理解している。 ○ド・モアブルの定理に理解し、公式を用いて複素数の計算をすることができる。 ○複素数平面上の図形の性質について考察をすることができる。	WR I T E 数学 III P 2 4 ~ P 4 3 の間をノート類に解くこと。 6 月 2 3 日に提出すること	課題内容について ・解答について、必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)

数学	数学応用研究	数と式 図形と方程式 いろいろな関数 微分法・積分法	○数と式、図形と方程式、いろいろな関数、微分法・積分法の発展的な問題を解くことができる。	『リンク数学演習1A+2B』P88～P105の練習23～40を解答する。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	理系数学研究	I・A+II・B basic	○数学I・A・II・Bの応用問題の解き方をみにつける	リンク数学演習I・A+II・B P116～P119の間を解く。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
理科	生物	情報の統合 刺激への反応	受容器で受け取られた刺激(情報)が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。効果器に関しては筋肉を中心に上げ、その構造を理解する。	問題集「リードα生物」P147～47の問題128と129に取り組み、ノートまたはルーズリーフに解答を記入して提出すること。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	生物研究	代謝	代謝におけるATPの役割、呼吸や光合成においては各過程の反応を学習し、理解する。	問題集「リードα生物」P46～47の問題に取り組み、ノートまたはルーズリーフに解答を記入して提出すること。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	物理研究	気体分子の運動、熱	熱力学および気体分子運動論に関する基礎的知識を身に付け、活用する。	授業がいよいよ始まるため、授業内で配る問題に取り組む(HPにもアップします)。前回までの課題が終わっていない人は、速やかに取り組む。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	化学研究	○化学平衡 ・可逆反応と化学平衡 ・化学平衡の移動 ・電離平衡	○可逆反応と化学平衡についてその関係を理解し、平衡の移動とその原理および条件変化に伴う移動についても理解する。	○5月最終週分までの課題が終わった者は、授業初回は教科書P92～101の「化学反応の速さ」等からスタートするので確認しておく。 ○これまでの課題の最終締切は6月19日(金)とします(2回目授業の日)。	○前週までの評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
保健体育	体育	スポーツをめぐる現状や今後の課題について	スポーツをめぐる現状と今後の課題について、コロナの影響による問題や近年話題となっている事柄を取り上げ、それについての自分の考えをまとめる。 (先週から継続)	【先週の課題を継続して取り組む】 (大会中止について、または、eスポーツについてのレポート)	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・スポーツの現状や課題について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・スポーツの現状や課題について、書き出すことができる。(知識・理解) 提出：6月29日以降提出
	音楽総合				

芸術	美術総合	○美術鑑賞	○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。	レポート最後の課題です。(必修) NHK Eテレ (NHK教育TV)で放送されている5分番組「no art, no life」(水曜22:45~:50、または金曜11:50~:55)を視聴して、これまでのレポート作成で鑑賞した美術番組を思い出しながら、「美術(芸術)ってなんだろう?」というテーマで、自由に自身の考えることを記述してください。レポート用紙(A4またはA5)使用、枚数自由。提出期限7月22日(金)、授業時に提出で可。*この番組は1番組に限らず、複数回視聴することをお薦めします。ネット上の見逃し配信でも視聴できます。/課題とは関係ありませんが、デザインに興味がある人は同じくNHK Eテレの「デザインミュージアムをデザインする」という番組配信もチェックしてみてください。	提出されたものについては評価の材料にします。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学び取ろうとしている。 ・鑑賞を通じて、美術という分野への理解や考察を主体的にすすめていこうとしている。(美術への関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、感性や想像力を働かせて、造形の美しさや作者の意図などを素直に感じ取っている(鑑賞の能力) ※「鑑賞」の分野は、評価の4割を占めます。
外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ 英語表現Ⅱ				
	英語会話	分野別10min.(プリント) 第4回から第6回	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができる。	分野別10min.の第4回から第6回までをCDを聴いて解答を書き、6月23日の授業で提出すること。プリントを担当の先生から受け取ること。氏名等を記入して提出すること。	課題内容について ・CDの音声を正確に聴き取れているか(技能) ・正確なスペルで解答が書けているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	英文読解	Intro1~Section3までの復習	○問題解答を中心に、英文の内容把握に積極的に取り組み、学んだ知識を活かしつつ体系的に英文を理解する。 ○テーマに関する内容や知識に自ら興味を持って理解を深める。 ○授業に向けて、理解の難しい箇所を整理する。	6/19(金)の授業に向けて、左記の範囲について、返却された課題と添付の「解答と解説」を利用して復習し、さらに理解を深めておいてください。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・課題に熱心に取り組み、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・英文の概要を把握できる。(理解) ・テーマに関心を持ち、言語や文化等についての理解を深めようとする。(知識・理解)
	英語語法理解				
家庭	子供の発達と保育				
情報	社会と情報				
総合的な探究の時間					